

「県政ガイドあいち 2026」表紙デザイン審査会 その他、審査員特別選

伊藤 勇吉 審査員

(コメント)

今回の審査にあたって、昨年、もしくは前の表紙に似てない新しい表紙を選ぼうと思いました。

この作品は、シンプルなデザインで構成され色も最低限の配色で上手くデザインされていました。新しい表紙デザインのあり方だと思います。



田中 篤至 審査員

(コメント)

毎年、新しい技法が見られますが、注目したのは切り絵をモチーフにした作品です。中でもピンク色の背景に「名物」のキャラクターを配置した作品は、思わず目を近づけて二度見しました。単純な効果なのですが、キャラクターを切り絵にすることで、平面の作品が3D画像のように立体的に見える効果がありました。文字や全体構成から余分なデザインを排除することで、立体感を強調する手法も興味深いものでした。



和 祐里 審査員

(コメント)

とても魅力的な世界観で、ツールに左右されず自分自身の手で描いた線から、描く楽しさが伝わってきます。表紙デザインの観点から、タイトルの大きさや配置、愛知の魅力を伝えるポジティブなモチーフ選び、広報誌がラックに並んだ時に手に取りたくなる明るい色彩を研究すると良いでしょう。他者に惑わされず、自分が信じた表現を追求して成長してほしいです。

